

事業所名

NPO法人発達障害サポートセンターピュア

支援プログラム

作成日

2025年3月1日 更新

法人（事業所）理念		私たちは、発達障害の方々と地域がつながりあう社会を実現します。								
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子様に合わせた「楽しい！」と思える活動内容の中で「一人でできた！」という達成感を養います。</li> <li>・お子様一人ひとりの生活力を高めるために「想いを伝える力」「自ら行動できる力」「ライフスキル」「ソーシャルスキル」の獲得を目指します。</li> <li>・一人ひとりの特性に合わせた支援方法を用います。</li> <li>・学んだことが家庭や学校に繋がっていきけるよう、ご家族の方と日常や学校の様子等を話す時間を毎回設けます。</li> <li>・ホップ・ステップ・ジャンプという段階を意識しながら、子どもたちが安心感を持って経験を積み、自信を育めるよう支援を行います。</li> </ul> 《ホップ：安心に繋がる楽しい環境を整えて自立と自発を育てる、ステップ：仲間と楽しい活動の中で学ぶ、ジャンプ：社会の中で自分らしく》								
営業時間		11時	0分	19時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし	※情報共有を大切にしているため保護者の方の送迎を推奨しています。
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	掃除や料理などの「家事スキル」、着替えや片付け・トイレや手洗いなどの「身辺自立スキル」、買い物や公共交通機関の使用などの「地域生活スキル」など、生活に必要なライフスキルを育てます。また、プレイルームの運動器具を使用して健康な心と体を育てたり、活動の中で危険なことや守らなければならないルールを学ぶ機会を設けたりすることで健康で安全な生活を作り出すことを支援します。お子様にとってわかりやすいように、また自ら取り組めるように、見てわかりやすい工夫（時間や空間の構造化）のアイデアを提供します。								
	運動・感覚	お子様が活動に集中しやすいように、衝立の使用や机を壁に向けるなどの工夫で必要ない視覚的な刺激を減らす配慮や聴覚の過敏さに対してイヤーマフ・デジタル耳栓などの使用、その他感覚の特異性への配慮（感覚の偏りに対する環境調整）をします。必要に応じて大型のトランポリンなど運動器具を使用して前庭覚や固有覚などを刺激し、お子様が必要としている感覚を入力する機会を設けます。								
	認知・行動	調理活動や制作活動・おでかけ・自由時間などお子様が好きな活動・やりたい活動の中で、一人ひとりの特性に合わせた文字やイラストを用いたスケジュールや手順書などの構造化のアイデアを用います。その中で活動の流れや内容を自ら理解して取り組むことができる「理解コミュニケーション」の力を育て、「自ら行動できる力」を育みます。								
	言語コミュニケーション	一人ひとりに合わせたPECS®（絵カード交換式コミュニケーションシステム）やPECS® IV+・PECS Talk（iPadでのPECS®）・筆談・リマインダーなどを用いて、自分の想いを相手に伝える練習を重ねていきます。想いが叶った経験を積むことで、自発的な「表出コミュニケーション」の力を育てます。ピュアでは、「双方向のコミュニケーション」を大切にしているため、本人が自分の想いを伝える「表出コミュニケーション」の力とともに、相手の想いを受け止める・指示を理解する「理解コミュニケーション」の力の獲得も目指します。								
	人間関係社会性	活動を通じて、ルールを守る、順番を待つ、友達と協力し合う、友達とのコミュニケーションを図る、感情を抑制しコントロールするなどといったスキルを学びます。療育の中だけでなく、お子様が生活をする地域社会で身につけた力が発揮できるように、社会資源（お店やコンビニ・公園・公共交通機関など）を積極的に利用します。また、スキルをしっかり身につけられるよう、お子様の特性に合わせた構造化のアイデア（見える化した工夫）を用います。								
家族支援		保護者の方に療育の場を觀察またはモニタ視聴いただき、お子様の特性やその特性を踏まえた関わり方等をフィードバック・相談・援助を行います。必要に応じてお宅を訪問または事業所において、保護者の方とお子様の特性に配慮した対応の仕方や家庭での悩みを共有するなど、相談援助の時間を設けさせていただきます。			移行支援		学んだことが家庭や園・学校に繋がっていきけるよう、ご家族の方と日常や学校の様子等を話す時間を毎回設けます。働くことへのイメージづくりなどライフステージの切り替えを見据えた取組や外出活動を設けることで地域とつながりながら日常生活を送るための取組も行っていきます。			
地域支援・地域連携		ケース会議の参加に加えて、必要に応じて園・学校の先生方と連絡を取り、支援方法や環境調整等に関する取り組みについて共有をします。また、研修・コンサルタント事業では、学校の教職員や、生徒（子どもたち）、福祉職員、保護者、企業などそれぞれの領域に合わせた研修と幅広く行っています。			職員の質の向上		児童精神科医師をはじめとする専門家による定期的なスーパーバイズや施設内での研修・コンサルテーション、その他様々な施設内研修を行っています。外部講師が実際に療育に入り、直接アドバイスいただく機会もあります。外部研修としては、レベル1ワークショップ（PECS）とトレーニングセミナー（TEACCH）をすべての常勤スタッフが受講し、自己研鑽できるような仕組み作りを行っています。			
主な行事等		季節ごとのイベント（節分、夏の水遊び、クリスマス会、ご家族参加型の卒業お祝いパーティーなど）、遠足（枚方パーク、海遊館、明日香村への電車旅など）、利用者OBOG同窓会								